

課題名：末梢性顔面神経麻痺におけるステロイド投与期間と治療成績の解析

◆研究の目的と概要◆

当院では、末梢性顔面神経麻痺についてステロイドの投薬期間と治療効果の関わりを調べています。本研究では、顔面神経麻痺において短期間高用量投与と従来の 1 週間程度かけでの投与との間での治療成績の差を確認し、治療効果を維持しながら入院期間を短縮することが可能かどうかを検証することを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2006 年 9 月から、2026 年 8 月までの間に、末梢性顔面神経麻痺(Bell 麻痺、Ramsay Hunt 症候群等)であると診断された、入院治療を受けた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

- 性別
- 生年月日または年齢
- 身長、体重
- 入院期間、入院日・退院日
- 外来を受診した日
- 合併症（顔面神経麻痺のほかに治療中の病気）
- 既往歴（これまでにかかった病気や受けた治療）
- 現病歴（顔面神経麻痺を発症してから受診・治療に至るまでの経過）
- 病名
- 治療を開始した日
- 顔面神経麻痺の程度を評価した点数（柳原法、Sunnybrook 法）
- ENoG（顔面神経がどの程度働いているかを電気刺激によって調べる検査）の結果
- 血液検査および血糖値の検査結果
- ステロイド薬の治療方法（使用した薬の量、投与期間、減量方法など）
- その他の使用薬剤
 - 抗ウイルス薬
 - 顔面神経の回復を目的として使用する薬（アデホスコフ、メチコパールなど）
 - ステロイド治療に伴う症状や副作用に対して使用する薬（インスリン製剤、便秘薬、睡眠薬など）

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年9月20日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 研究責任者 小野 聡亮

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- ・研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- ・研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- ・研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明